

平成30年度 事業報告

平成30年度事業報告

◎ 外国人旅行者の概況

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

- (1) 観光マーケティング事業
- (2) アイコン等を活用した海外PR
- (3) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京観光PR
- (4) 欧米豪を中心とした富裕層向けプロモーション
- (5) 東京観光レップの運営
- (6) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業
- (7) 観光プロモーション等の新たな展開
- (8) 東京からの日本の魅力新発見事業
- (9) 地方連携参画型広域プロモーション
- (10) 「東京圏大回廊」を活用した観光振興事業
- (11) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興事業
- (12) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業
- (13) 海外青少年の教育旅行受入促進事業
- (14) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大

2 コンベンション誘致に関する事業

- (1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営
- (2) 国際会議誘致・開催支援事業
- (3) 国内会議等の国際化支援
- (4) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業
- (5) 展示会・イベント誘致・開催支援事業
- (6) ビジネスイベント情報発信
- (7) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築
- (8) MICE 施設の受入環境整備事業
- (9) ユニークベニュー利用促進事業
- (10) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援
- (11) ユニークベニューワンストップ窓口の設置
- (12) ユニークベニューの魅力発信
- (13) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業
- (14) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進
- (15) MICE 専門人材育成事業
- (16) MICE マーケティング戦略の構築

3 地域の観光振興に関する事業

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興
- (2) 魅力を高める観光資源の開発
- (3) 観光まちづくりの支援事業の実施
- (4) 東京フィルムコミッション「東京ロケーションボックス」
- (5) 東京シティガイド検定の実施

- (6) 被災地応援ツアーの実施
- (7) ショッピング環境整備・推進事業
- (8) 受入環境インフラの整備

4 観光情報の発信に関する事業

- (1) 東京ブランドの発信・推進事業
- (2) ウェブサイトによる情報発信
- (3) SNS による情報発信
- (4) ウェルカムカードの作成
- (5) ムスリム観光客向けパンフレットの作成
- (6) 東京観光情報センター等の管理運営
- (7) 広域観光案内拠点等の整備及び運営
- (8) 観光ボランティアの管理運営
- (9) おもてなし親善大使の育成
- (10) 外国人旅行者向けエンターテイメント情報発信事業
- (11) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営
- (12) 東京マラソン祭りフォトコンテストの実施
- (13) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営
- (14) TCVB 活動の広報に関する事業

5 会報発行事業

- (1) 会報等の発行

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

2 ガイドマップ等の販売事業

3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業

- (1) 公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」
- (2) 過去問題

III その他事業

1 TCVB ミーティングの開催

2 TCVB ビジネス交流会の開催

3 賛助会員情報交換会の開催

◎ 外国人旅行者の概況

日本政府観光局（JNTO）統計によると、平成 30 年の訪日外国人旅行者数は 3,119 万 1 千人で、過去最高であった前年の 2,869 万 1 千人を 250 万人余り上回り、JNTO が統計を取り始めた昭和 39 年以降、最多の訪日者数となった。

また、東京都の調査によれば、平成 30 年の訪都外国人旅行者数は過去最多の約 1,424 万人で、対前年比 3.4%の増加となった。

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

(1) 観光マーケティング事業 <東京都受託事業>

訪都外国人旅行者誘致の効果について、22 市場（欧米豪、東アジア、東南アジア）において成果指標 KPI（Key Performance Indicator）を活用して、今後の効果的なプロモーションに向けて、調査・分析を行った。あわせて、平成 29 年度観光プロモーションを実施した成長開拓市場（ロシア）において、その効果検証を行った。

(2) アイコン等を活用した海外 PR <東京都受託事業>

企業との企画商品の開発支援、新規映像の制作、PR グッズ制作他、「Tokyo Tokyo Old meets New」アイコンを国内外で用いて世界の旅行者に東京の魅力を効果的に訴求し、訪都旅行者の増大を図った。

(3) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京観光 PR <東京都受託事業>

オリンピック・パラリンピック開催前の機会を捉え、観光目的地としての東京の認知度を更に向上させるため、オンライン広告の掲出やテレビ CM の放映実施、東京観光レップを活用したプロモーション、世界有数の観光都市との相互 PR を実施した。加えて、ワールドカップロシア大会、ジャパンエキスポ（仏）の海外イベントを活用した観光 PR を実施し、海外の一般市民に対して、東京の魅力を効果的に PR した。

(7) オンライン広告

Google、Youtube 等を活用したオンライン広告の実施、CNN、トリップアドバイザー等と連携した特設サイトを構築し、東京ブランドの PR を実施した。

(i) テレビ CM の放映等

CNN、EUROSPORT、及び PTV といったテレビ局のネットワークを利用し、世界において東京ブランドのテレビ CM を放映した。

(g) 東京観光レップを活用したプロモーション展開

北米 4 都市（ロサンゼルス・サンフランシスコ・ニューヨーク・トロント）、欧州 5 都市（ロンドン・ミュンヘン・ミラノ・マドリード・パリ）、豪州 1 都市（シドニー）、アジア 2 都市（北京・ソウル）の計 12 都市に設置した東京観光レップを活用して、現地の一般市民に対して東京観光の魅力を訴求した。

(エ) ワールドカップロシア大会を活用した観光プロモーション展開

ロシアで開催された当イベントの注目度を活用し、交通広告やオンライン広告等を実施し、現地において「旅行地としての東京」のPRを実施した。

(オ) ジャパンエキスポを活用した観光プロモーション展開

フランスで開催された日本の魅力を発信する当イベントに出展し、海外メディアや海外市民等に東京の魅力のPRを実施した。

(4) 欧米豪を中心とした富裕層向けプロモーション <東京都受託事業>

より多くの観光消費が期待できる富裕層を対象に、コミュニケーションツールを制作し、プロモーションを実施した。富裕層に特化した旅行会社及びコンサルタント等が加盟する国際組織のVirtuoso、Traveller Madeを活用して、富裕層市場において東京の存在感を高め、併せて欧米豪を中心とした旅行博・商談会のILTM Cannesへ出展した。また、東京観光レップ（パリ・ニューヨーク・ロサンゼルス・ロンドン）を活用したプロモーション活動を行った。

(5) 東京観光レップの運営 <東京都受託事業>

全12都市に設置した東京観光レップを通じて、メディア及び現地旅行事業者に対するセールス活動や情報提供等を行った。また、全レップを東京に一堂に集め、東京の観光事業者向けに、海外市場セミナー及び市場別相談会を1回開催した。（平成30年5月22日）

(6) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業 <東京都負担金事業>

(ア) 旅行博等への出展等

民間事業者等と連携して、アジアでは中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、ベトナム、インドネシア及びフィリピンに、欧米豪では、イギリス、ドイツ、スペイン、アメリカ、フランス、カナダ、イタリア及びオーストラリアの国際旅行博覧会等に出展し、東京観光情報の提供及びPRを行った。また一部の地域では、旅行博等の実施時期に合わせて観光セミナーも実施した。

- ・中国 Beijing International Tourism Expo 2019
(平成30年6月15日～17日)
- ・韓国 ハナツアー旅行博覧会（ソウル）（平成30年6月7日～10日）
- ・台湾 ITF（平成30年11月23日～26日）
- ・香港 International Travel Expo Hong Kong（平成30年6月14日～17日）
- ・シンガポール NATASTRAVEL 2019（平成31年2月22日～24日）
- ・タイ TITF#23（平成30年8月9日～12日）
- ・マレーシア MATTA Fair（平成30年9月5日～7日）
- ・ベトナム International Travel Expo Ho Chi Minh City 2018
(平成30年9月6日～8日)
- ・インドネシア Garuda Indonesia Travel Fair 2018（平成30年10月5日～7日）
- ・フィリピン Travel Tour Expo 2018（平成31年2月8日～10日）
- ・イギリス WTM London（平成30年11月5日～7日）
- ・ドイツ ITB Berlin（平成31年3月6日～10日）
- ・スペイン FITUR（平成31年1月23日～27日）
- ・アメリカ New York Times Travel Show 2019
(ニューヨーク) レップ出展（平成31年1月25日～27日）
Los Angeles Travel and Adventure Show 2019
(ロサンゼルス) レップ出展（平成31年2月16日・17日）
Travel & Adventure Show
(サンフランシスコ) レップ出展（平成31年3月23日・24日）
- ・フランス パリ国際旅行博（SMT）（パリ） レップ出展（平成31年3月14日～17日）

- ・カナダ モントリオール旅行博 (SITV) (平成 30 年 10 月 19 日～21 日)
バンクーバー旅行博 (OASV) (平成 31 年 3 月 2 日・3 日)
両方とも (トロント) レッパ出展
- ・イタリア BIT 2019 (ミラノ) レッパ出展 (平成 31 年 2 月 10 日～12 日)
- ・オーストラリア Travel Expo 2019
(シドニー) レッパ出展 (平成 31 年 2 月 9 日・10 日)

(イ) 民間企業とのジョイントプロモーション

アジア及び欧米豪地域において、現地一般市民等に対し東京の魅力を PR するため、民間事業者との共同によるジョイントプロモーションを実施した。

<アジア>

- ・連携企業 株式会社ぐるなび
- ・内 容 台湾において東京の食文化の伝統と革新を体験できるイベント「Café “TokyoTokyo”」の開催等を実施
- ・期 間 平成 31 年 1 月 14 日～1 月 31 日

<アジア・欧米豪>

- ・連携企業 株式会社朝日新聞
- ・内 容 東京の魅力をアメリカ向けに PR することを目的に、提携紙である The New York Times と連携した記事広告の配信、および中国向けに PR 映像の制作配信等を実施
- ・期 間 平成 30 年 9 月 12 日～平成 31 年 1 月 31 日 (アメリカ向け)
平成 30 年 8 月 7 日～平成 31 年 3 月 31 日 (中国向け)

(ウ) パンフレットの制作

アジア及び欧米豪地域の一般市民や海外旅行事業者等を対象としたパンフレットを制作し、旅行博等で配布した。

- ・アジア向け (英語、簡体字、繁体字、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語)
- ・欧米向け (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語)

(エ) 東京ニュース (Tokyo Now) の配信

欧米豪地域のメディアや旅行事業者を主な対象として、東京の最新ニュース等を定期的に配信した。(年間 12 回、各月)

(オ) 東京観光レッパ主催、旅行事業者向けセミナーの実施

欧米豪地域において、リテラー (販売事業者) 等を集め、東京の魅力や最新情報を伝えるセミナーを開催した。

- ・セミナー実施件数 : 23 件

(カ) 海外メディア招聘

海外から東京に取材に来る新聞、雑誌、テレビ等のメディアに対して、情報提供等サポートを行い、東京の魅力的な記事や映像の作成を働きかけた。

- ・メディア招聘件数 : 61 件 (アメリカ、フランス、スペイン等)

(キ) 海外旅行事業者招聘

訪都旅行商品の造成や販売の促進を図るため、レッパ設置国の旅行事業者を招聘・サポートし、東京の魅力を PR した。

- ・旅行事業者招聘件数 : 7 件

(7)観光プロモーション等の新たな展開 <東京都受託事業>

(ア) 既存市場（パリ）における観光プロモーションの強化

既にプロモーションを実施しているパリにおいて、旅行事業者・メディアなどを対象に、商談会や観光セミナーを実施した。

- ・都内事業者参加社数 : 15 社
- ・メディア集客 : 18 社
- ・旅行会社集客 : 25 社

(イ) インド、ロシア及び UAE におけるフォローアッププロモーション

訪日旅行者数の更なる増加が期待できるインド、ロシア及び UAE において、現地旅行博に出展するとともに、観光セミナーを実施した。また、東京への旅行商品造成に意欲的な現地旅行事業者を招聘し、東京の観光魅力を体験してもらうとともに、都内事業者等との商談会を開催した。

- ・インド OTM 2019 出展（平成 31 年 1 月 23 日～1 月 25 日）
東京観光セミナー開催（平成 31 年 1 月 21 日(ベンガルルール)）
- ・ロシア MITT 2019 出展（平成 31 年 3 月 12 日～14 日）
東京観光セミナー開催
（平成 31 年 3 月 11 日(モスクワ)、15 日（サンクトペテルブルク））
- ・UAE Arabian Travel Market2018 Dubai 出展
（平成 30 年 4 月 22 日～25 日）
東京観光セミナー開催（平成 30 年 4 月 23 日(ドバイ)）
- ・現地旅行事業者招聘：11 社 11 名（インド 6 社、ロシア 5 社、UAE 5 社）
平成 30 年 11 月 25 日～12 月 1 日

(8)東京からの日本の魅力新発見事業 <東京都負担金事業>

東北 6 県・仙台市、中国・四国地域 9 県、九州地域 7 県、北陸地域 4 県及び航空・鉄道事業者と連携し、各地域の強みを生かした東京を起点とする観光ルートの設定、共同招聘旅行及びメディアを活用した情報発信を行い、多様な訪日旅行の新たな魅力を海外に向けて広く発信した。

(ア) 観光スポット等の選定及び観光ルートの設定

都内から各地を繋ぐ、外国人旅行者が公共交通機関を利用して旅行できる魅力的なルートスポットを選定し、観光ルートを設定した。

(イ) 観光ルートを用いた共同招聘旅行の実施

ターゲット対象国を各自治体の意向を基に決定し、対象国の外国人に発信力と影響力のある海外在住外国人及び在京外国人を選定し、招聘旅行を実施した。

(ウ) 多様なメディアを活用した観光スポット、観光ルート及び交通利便性等の情報発信

- ・HOKURIKU×TOKYO サイトの新設 <https://www.hokurikuandtokyo.org>
- ・被招聘者による情報発信
- ・記事広告、オンライン広告等の実施

(エ) 東京と九州各地の魅力を訴求するための 360° 動画を制作して YouTube 上に公開

- ・制作本数：20 本
- ・オンライン広告の実施

(9)地方連携参画型広域プロモーション <東京都受託事業>

増加する個人旅行者の多様なニーズに対応し、東京と他自治体との連携による観光立国実現へ寄与するため、共同でのプロモーション事業を実施した。

- ・連携自治体：石川県、宮城県、山梨県外 15 道府県等

(10) 「東京圏大回廊」を活用した観光振興事業 <東京都負担金事業>

東京都心部に一極集中する外国人観光客の受入れ状況を変え、関東やこれに隣接する各県まで広域的にその効果を拡大させるべく形成された広域関東周遊ルート「東京圏大回廊」を活用し、ウェブサイトの制作や商品造成等を行い、当該ルート等の認知・普及などを促した。

(11) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興事業 <東京都負担金事業>

欧米豪の比較的富裕層が多い国からの観戦者が多く訪れるラグビーワールドカップ 2019™の日本開催を契機とし、東京と他開催地等への周遊を促すためのプロモーションを実施した。

(12) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業

首都圏を訪れる訪日旅行者を増やし、かつ回遊性を高めて域内に長く滞在してもらうため、首都圏各地域及び交通機関等の民間事業者と連携して、“Greater Tokyo”としての魅力を訴求した。

(13) 海外青少年の教育旅行受入促進事業 <東京都受託事業>

都内の学校関係者への学校交流受入説明会の開催や個別訪問をはじめ、受入意識調査の実施を基に受入窓口の運営を行い、海外青少年の教育旅行の受入を促進した。また、有望市場で実施される商談会等に参加し、現地教育関係者や旅行事業者へPRを行った。

(ア) 受入意識調査の実施 (回答数 332 件 (高校、教育委員会))

(イ) 都内学校関係者への学校交流受入説明会の実施 (2 回)

(ウ) 個別訪問説明会の実施 (8 校 2 教育委員会)

(エ) 学校交流の実施・支援 (51 件)

(オ) 台湾：「台湾における訪日教育旅行促進事業 現地説明会」参加
(平成 30 年 6 月 20 日～22 日)

アメリカ：「The 2018 ACTFL Annual Convention and World Language Expo」参加
(平成 30 年 11 月 16 日～18 日)

オーストラリア：「豪州における訪日教育旅行促進事業 現地説明会」実施
(平成 30 年 11 月 13 日 (メルボルン)・15 日 (アデレード))

(14) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大

(ア) ニュースレターの発行

中国、韓国、台湾、香港、東南アジアの旅行博やセールススクール等で交流のあった現地旅行事業者やメディア等へ、年 4 回東京の最新情報を発信した。

(イ) 各種セミナー・商談会等への参加

JNTO が実施する各市場別セミナーや VJ トラベルマート等の商談会へ参加し、市場動向の把握やネットワーク拡大を図った。

2 コンベンション誘致に関する事業

○ 東京開催コンベンションの実績

① 国内基準 (「2017 年国際会議統計」日本政府観光局 (JNTO) データ)

会議開催件数 631 件

国内都市別順位 1 位

② 国際基準 (「国際団体連合 (UIA) 統計 2017」)

会議開催件数 269 件

国際都市別順位 5 位

(1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営 <東京都補助金事業>

国や関連事業者等の様々な関係主体が連携を図り、より効果的にビジネスイベントを誘致・開催するため、MICE 連携推進協議会及び拠点、国際会議誘致、ユニークベニュー、テクノロジーの各部会を実施した（計 10 回）。合わせて関連事業者や都民にビジネスイベント誘致・開催の意義や重要性等の普及啓発を図るシンポジウムを開催した。

- ・ 東京都 MICE シンポジウム 2019
開催日：平成 31 年 1 月 22 日（火）
会 場：東京国際フォーラム

(2) 国際会議誘致・開催支援事業

<一部東京都受託・補助金事業・出資金事業>

(ア) 国際会議誘致支援

① 誘致マーケティング活動

- ・ 開催意向調査の実施
国内の学会・協会事務局及び東京近郊の大学キーパーソン 4,642 人に対し、開催意向調査を実施した。
- ・ 会議主催者への誘致活動
開催の可能性のある国際会議の国内対応団体等に対し、コンベンション開催に必要な情報（会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等）を積極的に提供し、東京への誘致に努めた。
- ・ 国内見本市への出展
京王プラザホテルで開催された「第 28 回国際 MICE エキスポ（IME 2019）」（平成 31 年 2 月 28 日）に出展した。
- ・ 国内都市選定時の誘致活動
国内都市選定の際に、「コンベンション都市・東京」の優位性をアピールしたプロポーザルの作成やプレゼンテーションを実施した。

② 誘致プロモーション活動

- ・ 海外会議主催者等の視察支援
平成 30 年 6 月 13 日～14 日 国際医学会系会議主催者 2 名
平成 30 年 6 月 14 日～18 日 国際医学会系会議主催者 2 名
平成 30 年 11 月 7 日～ 8 日 国際医学会系会議主催者 1 名
平成 31 年 2 月 19 日～20 日 国際協会系会議主催者 1 名
平成 31 年 2 月 21 日～24 日 国際協会系会議主催者 2 名
- ・ 開催決定への支援活動
東京での開催を前提として立候補した大型国際会議について、ビッドペーパー（立候補書類）等の誘致ツール作成支援のほか、海外での総会等において東京での開催をアピールした。

③ 学術系国際会議誘致に対するハンズオン支援（新規） <東京都補助金事業>

学協会・大学・研究者等に対し、財団の支援内容等について情報発信を行った。

(イ) 国際会議開催支援

① 参加促進への支援活動 <東京都受託事業>

東京開催が決定した大型会議の前回大会において、東京ブースを設置し、パンフレット等を配布することにより東京の魅力をアピールした。

- ・アジア小動物獣医師会 シンガポール大会 2018 (FASAVA2018)
会期：平成 30 年 9 月 25 日～28 日
会場：Sands Expo & Convention Center (シンガポール)

② 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議に、宣伝ツールの提供、観光や文化体験プログラム等に関する情報の提供、会議運営に関する情報の提供などを行った。

③ 国際会議開催支援プログラム<東京都受託事業>

東京の魅力を PR し参加者の満足度を高め、再来訪につなげるとともに、口コミ効果など、参加者を通じた観光プロモーションによるインバウンドの促進を図るため、東京で開催された以下の大規模国際会議に対し、PR ブースの出展、都内観光ツアーの実施やアトラクションの提供等を行った。

- ・第 23 回 ANOC 総会

会期：平成 30 年 11 月 27 日～30 日

会場：グランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール

④ 観光ボランティアを対象とした国際会議向けの研修<東京都受託事業>

国際会議ボランティアとしての事前研修を実施し、会議に派遣した。

- ・ISPOR 8th Asia-Pacific Conference

派遣日：平成 30 年 9 月 8 日～11 日

派遣場所：京王プラザホテル

- ・2018 年第 11 回国際水協会 (IWA) 世界会議・展示会

派遣日：平成 30 年 9 月 16 日～20 日

実施場所：東京ビッグサイト、清澄庭園、グランドニッコー台場

- ・シーグラフアジア 2018 (SIGGRAPH Asia 2018)

派遣日：平成 30 年 12 月 4 日～7 日

派遣場所：東京国際フォーラム

(ウ) 国際会議誘致・開催資金助成等事業

① 国際会議誘致支援

東京都内で国際会議の開催を予定する 1 団体に対し、誘致活動経費の一部を助成する誘致助成金を交付した。

② 国際会議誘致・開催支援

コンベンション開催助成の交付対象会議として、21 件の国際会議が登録され、19 件の開催地が東京に決定した。

- ・IPBA 第 31 回年次東京大会 (IPBA 2021) (1,300 名)

- ・第 6 回世界外傷学会 (WTC 2022) (1,000 名)

- ・第 16 回世界カイロプラクティック連合世界大会(WFC 2021) (1,000 名)

- ・The 16th International DOCOMOMO Conference Tokyo Japan (1,000 名) 等

③ 国際会議等立上げ準備資金助成

東京において新たに国際会議の立上げを計画する主催者に対し、立上げに要する経費の一部を助成し、東京における立上げ型国際会議の開催を促進するための広報活動を行った。

④ 立上げ型国際会議等開催資金助成

主会場を東京都内として新たに立ち上げる国際会議に対し、開催経費の一部の助成、及び開催時の支援を約束する制度を主催者等に案内し、東京における開催を促進するための広報活動を行った。

(エ) コンベンション統計事業

UIA/ICCA/日本政府観光局（JNTO）等が公表するコンベンション統計に用いるデータとして提供するため、都内で開催されたコンベンションについて、会議名や主催者名、参加者数等の調査を行った。

(3) 国内会議等の国際化支援＜東京都補助金事業＞

2件の国内会議に対して、海外向けプロモーション資金助成と国内会議等の多言語化資金助成を行った。

(4) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業＜一部東京都受託・補助金事業＞

(ア) 海外トレードショーへの出展

- ・フランクフルト MICE 見本市（IMEX）（平成30年5月15日～17日）
- ・ラスベガス MICE 見本市（IMEX America）（平成30年10月16日～18日）
※民間事業者5社と共に出展
- ・バルセロナ MICE 見本市（ibtm world）（平成30年11月27日～11月29日）

(イ) 企業系ビジネスイベント誘致支援事業＜東京都補助金事業＞

東京での開催を検討している5件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察のコース設定や都内サプライヤーの紹介などを行った。

- ・保険会社インセンティブツアー（1,000名予定・中国/台湾）
- ・銀行インセンティブツアー（350名予定・シンガポール）等

(ウ) 企業系ビジネスイベント開催支援事業＜東京都補助金事業＞

東京での開催を検討している39件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、ギブアウェイやパーティーへのアトラクション派遣、空港等での出迎えの提供を提案し、実施した。

- ・保険会社インセンティブツアー（700名・ベトナム）
- ・化粧品会社インセンティブツアー（1,100名・スウェーデン）等

(エ) 企業系ビジネスイベント開催支援メニュー開発＜東京都受託事業＞

海外のミーティングプランナー等と連携し、海外競合都市や国内他都市との差別化を意識した東京ならではの特別感のあるメニューを開発した。

(5) 展示会・イベント誘致・開催支援事業＜東京都補助金事業・出資金事業＞

(ア) 展示会における海外参加促進支援（国際化支援）＜東京都補助金事業＞

東京で開催される展示会へのインバウンド増加を促進するため、1件の展示会に対してブース出展費や多言語パンフレット製作費の助成及び観光PRリーフレット提供等の支援を行った。

(イ) イベント誘致・開催資金助成＜東京都出資金事業＞

① イベント誘致資金助成

国際イベント誘致を目指す国内対応団体等に対して、誘致活動経費の一部を助成し、東京への誘致を促進するための広報活動を行った。

② イベント開催資金助成・開催支援

1件の国際イベントに対して開催資金助成、開催支援プログラムを実施した。

③ 国際イベント立上げ資金助成

東京都内で国際イベントの立ち上げを計画する1団体に対し、立上げに要する経費の一部を助成する準備助成金を交付した。

④ 立上げ型国際イベント開催資金助成

主会場を東京都内として新たに立ち上げる国際イベントに対し、開催経費の一部を助成し、東京における開催を促進するための広報活動を行った。

(6) ビジネスイベント情報発信<一部東京都補助金事業>

(ア) コンベンション開催情報発信

国内外の主催者・プランナーに対して、東京でのコンベンション開催に必要な情報や東京の都市の魅力に関する情報をよりわかりやすく提供するため、ホームページの定期更新を行った。また、海外のプランナーやプレスに対して「Business Events Tokyo eNewsletter」を年4回配信するとともに、プレスリリースも行った。

(イ) 広告掲載によるPR強化<東京都補助金事業>

企業系ビジネスイベントの目的地としての東京をPRする広告デザインを制作し、以下のビジネスイベント専門誌へ広告、記事広告を掲載し、開催地としての東京の魅力をPRした。

- ・CeI 9月号、2・3月号（記事広告）
- ・Mix 7月号、10・11月号
- ・TTG MICE 6月号、11月号（記事広告）

(ウ) MICE ファムトリップ<東京都補助金事業>

開催地決定に大きな影響力をもつ国際団体本部キーパーソン（国際会議）や開催候補地の提案等を行う立場にあるコア PCO（国際会議）、国際団体本部（国際会議）、ミーティングプランナー（企業系ビジネスイベント）に対するファムトリップを行い、MICE 開催都市東京の魅力を伝えるとともに、都内関連事業者とのビジネスマッチングを行うことで、東京でのMICE 開催を促進した。

また、ファムトリップの機会を活用して都立施設でレセプション等を開催し、ユニークベニューとしての魅力をPRした。

・ファムトリップ

国際団体本部／コア PCO（国際会議）：5 団体／社 6 名

ミーティングプランナー（企業系ビジネスイベント）：22 社 23 名

・都立施設でのレセプション

第1回 海外ミーティングプランナー（APAC）ファムトリップ

会場：江戸東京たても園内 デ・ラランデ邸

参加人数：100 名

第2回 海外ミーティングプランナー（欧州/北米）ファムトリップ

会場：葛西臨海水族園内 レストラン「シーウィンド」

参加人数：71 名

(エ) 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築<東京都補助金事業>

海外ミーティングプランナーが加盟する組織等と連携し、現地における誘致案件や優良顧客情報を収集して、現地での東京PRを実施した。

- (オ) 訪問営業（セールスコール・ロードショー）の実施＜東京都補助金事業＞
ビジネスイベント開催地としての東京の魅力を効果的に発信し、企業系ビジネスイベントの掘り起こしを行うために、都内 MICE 関連事業者と連携して、ミーティングプランナー等への訪問営業を実施した。
・訪問都市：ダラス、オレンジカウンティ、サンフランシスコ
- (カ) MICE における環境配慮の実施（新規）＜東京都補助金事業＞
ガイドラインを策定し、冊子版（日本語）3,000 部と USB 版（英語）500 個を製作し、財団ウェブサイトの日英のガイドライン（PDF 版）とチェックリスト（Excel 版）を掲載した。
- (キ) MICE 拠点育成支援エリア PR 事業＜東京都補助金事業＞
従来の 3 エリア（丸の内、六本木、臨海副都心）の PR に加え、平成 29 年度に MICE 拠点育成支援エリアに指定された「日本橋・八重洲」・「品川・田町・芝・高輪・白金・港南」・「八王子」の 3 エリアについて、各エリアの概要や主要施設情報、これまでの MICE 関連イベントの開催実績などを紹介するとともに、海外のミーティングプランナーの視点を有する MICEライターによる寄稿記事も合わせて掲載した。
- (7) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築＜東京都補助金事業＞
海外他都市との熾烈な国際競争を勝ち抜き、国際会議誘致を拡大するため、誘致に積極的に取り組む海外主要都市のコンベンション・ビューローで構成される国際的なアライアンス組織「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」（正式表記「BestCities Global Alliance」）に加盟し、各種情報収集や東京のプロモーションを行った。
- (8) MICE 施設の受入環境整備事業＜東京都出資金事業＞
国際的なビジネスイベントの誘致を促進するにあたり、受入に積極的な都内 7 施設に対し、施設機能強化を支援する助成を行った。
- (9) ユニークベニュー利用促進事業＜東京都補助金事業・受託事業＞
- (ア) ユニークベニュー会場利用支援＜東京都補助金事業＞
都内のユニークベニューを利用してレセプション等を行ったビジネスイベント主催者（以下を含めた計 4 件）に対して、設営費等の補助、会場側との諸調整などの支援を行った。
・公益社団法人日本建築家協会
開催日：平成 30 年 9 月 11 日
会 場：国立新美術館
・一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
開催日：平成 30 年 11 月 8 日
会 場：丸の内仲通り 等
- (イ) ユニークベニューの施設等状況調査＜東京都受託事業＞
都内施設の現況調査や受入に向けた課題整理を行い、ユニークベニューとして利用可能な施設を開発した。
- (10) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援＜東京都出資金事業＞
ユニークベニューとなる施設 2 件に対し、イベントやレセプション等の開催に必要な設備の導入を支援した。

(11) ユニークベニューワンストップ窓口の設置<東京都受託事業>

ユニークベニュー利用希望者に対し、豊かな知見に基づくコンサルティングによって適切な施設の紹介、特別感を演出できるイベントの企画提案、利用施設等との調整等、ワンストップで総合的な支援を行う窓口を設置し、利用者と施設のマッチングを推進した。

(12) ユニークベニューの魅力発信<東京都受託事業>

(ア) ユニークベニュー専用ウェブサイトの開設

海外のビジネスイベント主催者や DMC 等に向けて、都内ユニークベニューをわかりやすく伝えるため、360° 画像などを盛り込んだユニークベニュー専用ウェブサイトを開設した。

(イ) ユニークベニューPRパンフレット

ユニークベニューとしての利用を広く PR するため、施設概要や利用料金、利用できるスペース等を紹介するパンフレットを作成した。

(13) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業<東京都出資金事業>

東京都が指定した以下の東京ビジネスイベント先進エリア及び多摩ビジネスイベント重点支援エリア（既存の八王子に加え、立川を新たに追加）において、ビジネスイベント開催及び誘致能力を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた助言、提案等の支援を行った。

- ・ 大手町・丸の内・有楽町エリア
- ・ 六本木・赤坂・麻布エリア
- ・ 臨海副都心エリア
- ・ 日本橋・八重洲エリア
- ・ 品川・田町・芝・高輪・白金・港南エリア
- ・ 八王子エリア
- ・ 立川エリア

(14) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進<東京都補助金事業>

東京と異なる魅力を持つ国内の 6 都市と協力体制を構築し、共同で MICE の誘致活動等を実施した。企業系ビジネスイベントでは連携都市と共同でミーティングプランナー向けファミトリップの実施等、国際会議では地方送客に向けたモデルコースの造成、PR ツールの作成等を行った。

- ・ 平成 30 年度連携都市：札幌市、石川県、京都市、福岡市、名古屋市、沖縄県

(15) MICE 専門人材育成事業<東京都負担金事業>

(ア) MICE 専門人材育成講座（基礎）の実施

MICE ビジネスのグローバルスタンダードを身につけた専門人材を育成するため、企業系ビジネスイベント、国際会議及び展示会・イベントの 3 分野に関する基礎編の専門人材育成講座を有料で実施した。

- ・ 前期 : 国際会議（全 6 回）
 - 日程 : 平成 30 年 7 月 31 日～9 月 11 日
 - テーマ : 国際会議の誘致と開催～成功させるヒント～
- ・ 前期 : 展示会（全 4 回）
 - 日程 : 平成 30 年 8 月 2 日～8 月 30 日
 - テーマ : 展示会の国際化

- ・前期 : イベント (全2回)
 日程 : 平成30年9月6日～13日
 テーマ : イベントの誘致・開催
- ・後期 : インセンティブツアー (全6回)
 日程 : 平成30年12月5日～平成31年1月23日
 テーマ : インセンティブツアー受入のためのおもてなし向上
 ～東京2020大会開催に向けて～

(イ) MICE 専門人材育成講座 (実践) の実施

国際会議及び企業系ビジネスイベントの2分野を対象に、MICEの専門人材育成にノウハウを持つ国際団体と連携して実践編の人材育成講座を有料で実施した。

- ・国際会議 (2日間) : 平成30年12月10日～11日
- ・インセンティブツアー (2日間) : 平成31年1月29日～30日

(ウ) 国際会議関連事業者向け実務マニュアルの作成

A4版70ページのマニュアルを日本語で1000部制作し、都内の事業者へ配布した。

(エ) 出張講座の実施

都内ビジネスイベント関連事業者等が実施する3件の研修に対して講師を派遣した。

(オ) 大学教授等を対象としたセミナー開催

平成31年2月28日に2回に分けてセミナー及び個別商談会を実施した。

(16) MICE マーケティング戦略の構築 <東京都受託事業>

企業系ビジネスイベント、国際会議及び展示会・イベントの具体的施策を測定するために設定されたKPIについて、測定を行った。

3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興

<一部東京都補助金、受託事業>

(ア) 地域振興助成 <東京都補助金事業>

観光団体等が旅行者誘致の視点で企画するイベントなどの観光振興事業に対して、13件の助成を行った。

申請団体	事業名
一般社団法人東京諸島観光連盟	東京諸島マップ&英語版リーフレット制作事業
港区観光協会	QR Translator を利用した観光施設活性化実証実験事業
一般社団法人江東区観光協会	ツーリズム EXPO ジャパン 2018 出展事業
一般社団法人青梅市観光協会【共同事業】	岩倉温泉地域活性化事業
一般社団法人青梅市観光協会	青梅市観光協会推奨土産パンフレット作成事業

調布市観光協会	テレビアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」第6期を活用した誘客事業
公益財団法人世田谷区産業振興公社	世田谷にゆかりあるコンテンツを活用した観光イベントの開催
一般社団法人東京諸島観光連盟【共同事業】	旅まつり名古屋2019 出展事業
一般社団法人大田観光協会	町工場を舞台とした観光コンテンツ造成事業
一般社団法人中野区観光協会	中野のお土産物（サンプル品）開発
一般社団法人東京北区観光協会	赤羽のシティプロモーション事業
公益財団法人八王子観光コンベンション協会	体験学習フォーラム八王子2018
一般社団法人中央区観光協会	東京マラソン EXPO2019

(イ) 東京トラベルマート、観光情報交換会の開催

①東京トラベルマート

観光団体や企業と旅行会社、メディア等による商談会を主催し、観光資源の発掘と旅行商品造成の促進による地域観光の活性化を図った。

開催日：平成30年7月11日

会場：東京商工会議所（丸の内二丁目ビル）3階会議室2・5・6・7

商談会：13：00～17：05 情報交換会 17：15～18：30

出展団体：26社（旅行会社）

参加団体：51社（サプライヤー企業 42社、自治体・観光協会等 9団体）

②観光情報交換会

平成30年度は観光活性化フォーラム＜東京都受託事業＞の第2部として開催した。

（詳細はP21参照）

(ウ) 観光団体等との連携

観光協会・団体等が主催するイベントを後援・協賛するとともに、区市町村が設置する各種委員会等への積極的な参画や、都内および全国の観光団体等と積極的に連携を図り、観光情報の発信等を通じ地域の活性化を促進した。

① 日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協会の各種会合に参加し、情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰の推薦を行った。

○ 日本観光振興協会：総会 平成30年5月29日

○ 関東支部：評議員会 平成30年4月20日、総会 平成30年4月20日

○ 関東ブロック広域観光振興事業推進協議会 平成30年4月20日

○ 関東甲信越静観光協会・連盟協議会：総会 平成30年4月20日、委員会 7月5日～6日（埼玉県）、10月18日～19日（長崎県）、平成31年2月28日（東京都大田区）

○ 「ふるさと観光展 IN 仙台駅」出展 平成30年10月10日～12日

18団体資料等参加

② 地域団体との連携

地域観光団体等に対し情報提供を行うとともに、観光・地域振興について情報交換を行った。

○ 「旅まつり名古屋2019」（平成31年3月15日～17日）に東京諸島連携推進協議会、大多摩観光連盟、(株)はとバスと連携して出展し、広域的な観光案内を行った。

○ 「ふるさと観光展 IN 仙台駅」(平成 30 年 10 月 10 日～12 日)に大多摩観光連盟及び東京諸島観光連盟と連携して出展し、広域的な観光情報発信を行った。

③ 共催・協賛

・音楽祭の協賛

「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018」

日時：平成 30 年 5 月 3 日～5 日 場所：丸の内・池袋

主催：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018 運営委員会

④ 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

<ul style="list-style-type: none"> ○ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018 ○東京愛らんどフェア「島じまん 2018」 ○アマチュア無線フェスティバル ハムフェア 2018 ○東京湾大江戸花火祭 2018 ○SCAJ ワールドスペシャリティコーヒー カンファレンスアンドエキシビション 2018 ○第 47 回文京さくらまつり ○第 49 回文京つつじまつり ○第 34 回文京あじさいまつり ○第 33 回文京朝顔・ほおずき市 ○第 62 回文京梅まつり ○第 57 回文京区観光写真コンクール ○GTF グレーター トウキョウ フェスティバル 2018 ○ドリーム夜さ来い祭り in シンガポール ○第 17 回ドリーム夜さ来い祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ○第 17 回新宿エイサーまつり ○ラーメン Show in Tokyo 2018 ○東京国際プロジェクションマッピング アワード vol.3 ○Go Green Market TOKYO 2018 ○ツーリズム EXPO ジャパン 2018 ○東京マラソン 2019 ○J-CULTURE FEST/につぼん・和心・初詣 2019 ○Tokyo Prime Night 2018 ○東京ミチテラス 2018 ○Tokyo Shopping Week 2019 at Harajuku Omotesando & Takeshita St. ○第 32 回新宿御苑森の薪能 ○町田時代祭り 2018 ○傳益瑤が描く日本の祭り絵展 ○UFI Asia-Pacific Conference 2019 ○秋川“四季の奏で”音楽会 秋川クリーンアップ活動(秋川の清掃活動)
---	--

⑤ 委員会等への参加

財団役員等が観光関連団体等の委員等へ就任し、活動に参画した。

<ul style="list-style-type: none"> ○観光立国推進協議会 ○日本観光振興協会 ○日本観光振興協会関東支部評議員会・関東 ブロック広域観光事業推進協議会・関東甲 信越静観光協会・連盟協議会 ○一般社団法人日本経営協会通常総会 ○一般社団法人大多摩観光連盟通常総会 ○東京外かく環状道路(関越道～湾岸線)整 備促進連絡会議 ○ヘブンアーティスト運営実行委員会 ○アジア舞台芸術祭実行委員会 ○公益財団法人東京都公園協会評議員会 ○一般社団法人墨田区観光協会理事会 ○中央区観光検定委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都立多摩総合医療センター治験審査委員会 ○東京都地価動向調査委員会 ○外国人対応支援マニュアル企画作成活用委員会 ○一般財団法人東京マラソン財団理事会 ○一般社団法人日本コンGRES・コンベンション・ ビューロー理事会 ○文京区アカデミー推進協議会 ○多摩観光推進協議会幹事会 ○公益財団法人東京都中央企業振興公社理事会 ○2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向 けた多言語対応協議会
---	--

(エ) 観光資源商品化支援事業<観光振興基金事業>

都内各地域の観光資源のうち、2件の地域資源を活用したツアーの旅行商品化と体験コンテンツ化に向けた支援を行った。

(オ) アンテナショップ支援事業<東京都受託事業>

都内に集積する日本各地の特産品を扱うアンテナショップを周遊するイベントとアンテナショップ掲載情報誌の制作・配布により、都内消費拡大および地方への誘客を促した。

実施期間：平成30年1月31日～2月28日

参加店舗数：57店舗

アンテナショップ掲載情報冊子3万5000部制作・配布

(カ) 島しょ地域における観光連携実践プロジェクト<東京都受託事業>

東京諸島の連携強化に向け、東京諸島観光連携推進協議会の行う、プロモーション活動、ツール・商品開発等の事業におけるサポートを実施した。

(2) 魅力を高める観光資源の開発<東京都出資金事業、受託事業>

(ア) 地域資源発掘型実証プログラム事業<東京都出資金事業>

観光協会等から地域資源活用のアイディアを募集し、事業化ノウハウを持つ民間事業者に事業委託をすることによって、着地型旅行商品造成や特産品開発等を通じた地域への旅行者誘致支援を、以下計16件の事業を採択した。

第1回採択案件

No	区分	企画名	企画提案者
1	単域	明治日本の近代化産業遺産を活用したヘリテージツーリズム推進事業～重要文化財 北区王子・赤煉瓦酒造工場の観光活用事業～	一般社団法人 東京北区観光協会
2		武蔵野シティECOツーリズム	一般社団法人 武蔵野市観光機構
3		青梅宿・猫町プロジェクト	一般社団法人 青梅市観光協会 NPO法人 観光協会ぶらり青梅宿 青梅市商店会連合会
4		新しい回遊スキーム「ひがしむらやま観光御朱印帳」～飲み喰い！編～	世界一訪れたいツーリズム委員会
5		三宅島の巨樹探索ツアー	一般社団法人 三宅島観光協会
6		小笠原村の観光資源の遠隔体験イベント	一般社団法人 東京諸島観光連盟
7	広域	渋谷・新宿の世界屈指のナイトタイムエンターテインメントコンテンツ発掘/訪日外国人向け消費喚起事業～TOKYO Night Time Passport～	一般社団法人 新宿観光振興協会 一般財団法人 渋谷区観光協会 一般社団法人 ジャパンショッピング ツーリズム協会
8		武蔵野の森発 サステイナブル観光	一般社団法人 武蔵野コッツウォルズ
9		竹芝ふ頭インフォメーションレストラン企画	一般社団法人 竹芝エリアマネジメント 一般社団法人 東京諸島観光連盟

第2回採択案件

No	区分	企画件名	企画提案者
1	単域	向島遊びで春を満喫～桜と舞と旨いもの～	向島町おこしの会
2		世田谷くらしツアーリズム ～インバウンド向け商店街ツアーの造成・運営～	公益財団法人 世田谷区産業振興公社
3		稲城クロス～シクロクロスから始まる自転車のまちづくり～	稲城クロス連携協議会
4		町田ゆかりの作家の目線で巡るアート体験ツアー	一般社団法人 町田市観光コンベンション協会
5		吉祥寺酒場札所めぐり事業	一般社団法人 武蔵野市観光機構
6	広域	「遊ぶ」「食べる」「学ぶ」5感で楽しむ多摩北部農業体験ツアーとイベント告知ツール制作実施	地元野菜！作る人・食べる人を繋ぐベジックル
7		ラグビーワールドカップに向けて外国人による外国人のための体験型着地造成～「ノーサイド」のおもてなし	調布市観光協会

※区分について

単域・・・1つの区市町村内で実施する取組

広域・・・地域間で連携し、複数の区市町村にまたがって実施する取組

※第1回採択案件：全て実施済み

第2回採択案件：令和元年9月末までに事業終了

(イ) 多摩・島しょ魅力発信事業<東京都受託事業>

多角的かつ集中的なプロモーションにより、多摩・島しょ地域へのさらなる誘客を図る。

① WEB、メディア等による情報発信

多摩・島しょ地域の魅力を発信するために、国内旅行者と外国人旅行者に対し、VR動画、SNS、情報発信サイトなど様々な情報発信ツールを多角的に活用した広告による集中的なプロモーションを実施した。

1 「TAMASHIMA.tokyo」のWEBサイトの制作・編集・運用

(1) 既存サイト「TAMASHIMA.tokyo」をリニューアルし、日本語版を9月7日に、英語版を9月19日に公開

(2) 日本語、英語サイト

全エリア分の興味関心記事やコラボレーション記事（antenna、National Geographic）等を新たに作成

(3) 繁体字：

コラボレーション記事（antenna、National Geographic）等を新たに作成

2 「TAMASHIMA.tokyo」のSNSの運用

(1) 既存のFacebook・Instagramアカウントにて週1回程度投稿

(2) 専用の事務局を設置した新体制にて日本語版9月12日、英語版9月27日に配信開始
WEBサイトの内容と連動させ、週に1回程度投稿

3 WEB・SNS広告の実施

(1) Google Display Network、Facebook、Instagram及びYouTube Trueview：

新規映像・バナー及び平成28年度に制作した5種類の映像を6月から7月の2カ月間及びリニューアル公開に合わせた9月以降に毎月掲出

対象国：日本、台湾、香港、シンガポール、アメリカ、イギリス

- (2) キューレーションサイト：外部メディアである「antenna」「National Geographic」とタイアップし、メディア目線でのコラボレーション記事を制作

4 映像等に関すること

VR 映像の放映：

- (1) 観光情報センター（都庁）、羽田空港で体験イベント実施
(2) WEB に格納

② 誘客促進イベントの実施

大規模旅行博へのブース出展等、多摩・島しょへの誘客を促進するイベントを実施した。
「ツーリズム EXPO ジャパン 2018」へのブース出展

- (1) 会期：平成 30 年 9 月 20 日（木）～23 日（日）
(2) 場所：東京ビッグサイト
(3) 内容：多摩・島しょ地域に親しんでもらえるワークショップ等を実施。

(ウ) VR 映像を活用した多摩・島しょ PR 事業＜東京都受託事業＞

多摩・島しょ地域のダイナミックな自然を実際に体感している感覚を味わうことのできる VR 映像を制作した。

制作：

動物目線の VR 映像を 10 本制作（動物編：多摩 4 種・島 4 種/ブランド編多摩 1 種・島 1 種）

(エ) 多摩・島しょ地域旅行商品造成・販売支援事業＜東京都出資金事業・一部受託事業＞

インバウンド観光の効果を多摩・島しょにも波及させるため、外国人が海外でも購入可能な多摩・島しょ地域の着地型旅行商品造成の推進を実施した。

① 旅行商品の造成支援

民間旅行事業者を対象とした、多摩・島しょ地域を周遊する新規性のある着地型旅行商品等やオプションツアーの造成・販売を促進に対して造成に係る経費の一部について助成

交付決定事業者数：5社

交付決定事業数：6件

(オ) 多摩・島しょ地域内観光交通支援事業

① 交通サービス事業＜東京都受託事業＞

移動アクセス手段の更なる充実が見込める多摩地域・島しょ地域の観光資源を活かした交通手段確保型旅行商品のモニターツアーと、モニターツアーの結果を活用した実証実験を企画・実施した。

ア) 西多摩地域モニターツアー【実施地域：あきる野市、日の出町】

・関係者向け

実施日程：平成 30 年 10 月 3 日～4 日 参加者数：22 名

・一般旅行者向け

実施日程：平成 30 年 11 月 7 日～8 日 参加者数：25 名

イ) 多摩地域モニターツアー

※立川駅を起点とするエリアを自由に巡るツアー。

・一般旅行者向け

実施日程：平成 30 年 11 月 7 日～8 日 参加者数：25 名

ウ)島しょ地域モニターツアー

三宅島にて、自動運転自動車 2 車種と電動アシスト自転車、計 3 種類のモビリティを活用したツアーを実施。

・関係者向け

平成 30 年 12 月 9 日～12 月 11 日 参加者数：20 名

・一般旅行者向け

平成 30 年 12 月 13 日～12 月 15 日 参加者数：21 名

② 交通インフラ整備支援事業<東京都補助事業>

多摩・島しょ地域内において、観光客に対する自転車を活用した二次交通拡充の取組について、以下計 3 件の事業を採択した。

No	申請者	事業内容
1	日の出町観光協会	電動アシスト自転車の購入 付帯設備等の設置
2	新島村商工会	電動アシスト自転車の購入
3	三宅島観光協会	電動アシスト自転車の購入

(ハ) 新たなツーリズム開発支援事業<東京都出資金事業>

多摩・島しょ地域において、当該地域で実施されていない体験型・交流型の要素を取り入れたグランピングなどの新たな観光スポット開発を実施する民間事業者等の取組をモデルプロジェクトとして選定した。

①モデルプロジェクト選定数 4 件

(キ) 島しょ地域誘客促進事業<東京都出資金事業>

島しょ地域で宿泊や観光に利用可能な特典付共通旅行券を販売することにより、島しょ地域の PR 及び島外旅行者の島しょ地域への持続的な送客と、現地での観光関連の消費を促進した。

① プレミアム付電子宿泊旅行商品券「しまぼ通貨」の販売

事業概要：Web にて 10,000 円分のプレミアム付き宿泊旅行商品券を 7,000 円で販売
スマートフォン／携帯電話で利用

販売期間：平成 30 年 4 月 23 日～平成 31 年 3 月 31 日

販売数：79,385 セット／793,850,000 円

登録者数：20,575 人

加盟店数：328 店舗

② しまぼタイヤアップツアーの実施

事業概要：旅行会社で購入する島しょ地域への宿泊旅行に対し 1 泊 3,000 円の割引を行う。

実施期間：平成 30 年 4 月 23 日～平成 31 年 3 月 31 日

実績：宿泊旅行 23,287 泊

旅行会社数：34 社

(ク) 島しょ地域を活用した縁結び観光プロジェクト<東京都出資金事業>

「婚活」やお見合いを目的とした、船舶で島しょ地域を観光する旅行商品の造成・販売促進を実施するとともに、20～40 歳代を対象とした PR 冊子を作成・配布、Web による PR、女子旅 Expo へのブース出展を実施した。

① 旅行商品の造成支援

民間事業者を対象に、「婚活」やお見合いを目的とした、島しょ地域を観光する旅行商品造成に対して造成・広報に係る経費の一部について助成。

交付決定事業者数：4社

交付決定事業数：6件

② モニターツアーの実施

ア)神津島モニターツアー

実施日程：平成30年7月12日～13日（1泊2日） 参加者数：11名

イ)新島・式根島モニターツアー

実施日程：平成30年10月3日～5日（2泊3日） 参加者数：11名

③PRプロモーション

ア)観光PRパンフレットの制作及び配布

制作：10万部

配布：雑誌Metoro min.への中綴の他、「東京観光情報センター（東京都庁、羽田空港、京成上野及びバスタ新宿）」や、各島観光協会等で配布

イ)Webプロモーション

OZmallに特集ページを作成し、冊子のダウンロード及び助成対象ツアーのPRを実施

(3) 観光まちづくりの支援事業の実施<東京都受託事業>

ア) 地域における観光まちづくりの支援<東京都受託事業>

① 観光活性化フォーラムの開催

都内の観光行政・観光協会・観光関連事業者等を対象として、地域の魅力を活かした観光振興への取組を支援する目的で2部構成にて実施。第1部では地域の観光活性化についての講演と東京都事業を活用した取組の事例発表を行い、第2部では情報交換や商談を行う「観光情報交換会」及び「東京都観光まちづくりアドバイザー個別相談会」を実施。

開催日：平成31年2月7日（木）

会場：サピアタワー5階 ステーションコンファレンス東京

来場者数：168名

第1部 講演会：13:05～14:55

ア)基調講演

「東京都版ナイトタイムエコノミー
～2020年までに外国人旅行者の満足度向上をめざす～」

講演者：国際カジノ研修所 木曾崇

イ)地域の取組事例発表講演

「サイクルロゲイニングイベント『ひのはらいど』の取組について」

講演者：一般社団法人檜原村観光協会 清水主税

ひのはらいど実行委員会・東京裏山ベース 神野賢二

第2部 観光情報交換会・相談会：15：10～17：40

【観光情報交換会】

希望する観光協会・観光行政等が個別にブースを設け、主に各種メディアや旅行会社を対象として、情報交換や商談を行う場を設定
 ・出展団体（自治体・観光協会等）：27団体

【東京都観光まちづくりアドバイザー個別相談会・ミニセミナー】

観光まちづくりアドバイザーによる相談会ブースを設け、希望する観光関連団体との個別相談会を実施。さらに、「ミニセミナー」では、アドバイザーが普段の活動の中でどのように課題を解決していくのか、得意とする分野を中心に体験型のワークショップを行った。

② 学生インターン事業

教育機関が有する人材や知見を事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成するため、都内観光系大学等の学生を観光協会等に派遣した。

No.	派遣先	大学名
1	公益財団法人 世田谷区産業振興公社	立教大学
2	一般社団法人 墨田区観光協会	立教大学 玉川大学
3	一般社団法人 八丈島観光協会	明治大学 東洋大学
4	中野区観光協会	拓殖大学
5	一般社団法人 小笠原村観光協会	立教大学 玉川大学
6	神津島観光協会	拓殖大学
7	一般社団法人 三宅島観光協会	産業能率大学 帝京大学
8	一般社団法人 足立区観光協会	杏林大学
9	一般社団法人 式根島観光協会	杏林大学 立教大学
10	こだいら観光まちづくり協会	跡見学園女子大学
11	公益社団法人八王子観光コンベンション協会	立教大学 杏林大学
12	一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会	立教大学 拓殖大学
13	一般社団法人 新宿観光振興協会	桜美林大学
14	一般社団法人 昭島観光まちづくり協会	帝京平成大学 産業能率大学

③ 観光人材育成支援事業

地域の観光振興をリード・コーディネートしていくことができる人材を育成するため、地域の観光振興を担う観光協会等に対して多面的に人材育成研修を実施した。

(1)全体研修（全2回）

第1回 「観光の基本を学ぶ（戦略、組織、魅力づくり等）」

日時：11月15日 13：30～17：30 会場：日本交通公社 参加者：16名

第2回 「観光まちづくりの財源を考える」

日時：11月26日 13：30～17：30 会場：日本交通公社 参加者：15名

(2) オーダーメイド型研修 (全3回)

第3回 「外国人旅行者の実態を知る」

日時：12月6日 13:30～17:30 会場：日本交通公社 参加者：9名

第4回 「マーケティング・プロモーションの基本と実践を学び、現場で活用する」

日時：12月20日 13:30～17:30 会場：日本交通公社 参加者：10名

第5回 「魅力づくり、エコツーリズムの基本を学ぶ/地域の魅力を効果的に発信する」

日時：1月16日 13:30～17:30 会場：日本交通公社 参加者：8名

(3) 提案型研修 (全3回)

第6回 「食・特産品開発、農商工連携について考える」

日時：1月31日 13:30～17:30 会場：日本交通公社 参加者：6名

第7回 「「まいまい京都」に学ぶ、観光の魅力づくり、まち歩きの実践的な取り組み方」

日時：2月15日 13:30～17:30 会場：町田市民文学館(町田市) 参加者：8名

第8回 「「まるごとにつぼん」に効果的な観光PRを学ぶ」

日時：3月1日 13:30～17:30 会場：まるごとにつぼん(台東区) 参加者：11名

④ アドバイザー派遣事業

各地域の課題にあわせ、7団体へ計9名の専門家を派遣した。

No.	申請団体	派遣アドバイザー	
		氏名	所属団体
1	調布市観光協会	福島 達也	(公財) 公益推進協会
2	公益財団法人 世田谷区産業振興公社	今村まゆみ	フリー
3	江東区大島文化観光協会	高橋 誠司	(株) クニエ
4	八丈島観光協会	田中 三文	三菱 UFJ リサーチ&コンサル ルティング (株)
5	神津島観光協会	古瀬 浩史	帝京科学大学
		増田 直広	(公財) キープ協会
6	式根島観光協会	三好 崇弘	(有) エムエム・サービス
		塚田 佳満	(株) DMG フォース
7	国分寺市観光協会	渡邊 知	(株) ファイアープレイス

(イ) TOKYO 再発見！街歩きツアー事業 (新規) <東京都補助事業、受託事業>

① 地域の街歩きツアー等開発支援事業 <東京都補助事業>

観光協会等が商店街やNPO団体等と連携し、街歩きツアーを開発する事業を4件支援した。

申請団体	助成事業名
一般財団法人 渋谷区観光協会	原宿 Kawaii ガイドツアー
一般社団法人 中央区観光協会	江戸・東京の魚河岸ルーツを探る。

	築地・日本橋まち歩きツアー
一般社団法人 青梅市観光協会	青梅妖怪伝説と寺社巡り
一般社団法人 しながわ観光協会	龍馬と行く船でお台場巡り&しながわ歩き

②

地域の街歩きツアー等発信事業 <東京都受託事業>

観光協会等が実施する街歩きツアーを取りまとめ、東京全体で街歩きツアーイベントを実施した。

ツアー実施期間：平成30年10月1日～11月30日

参加団体・ツアー数：15団体・28コース

ツアー催行予定回数（実施回数）・述べ参加者数：102回（95回）・912名

(ウ) 水辺のにぎわい創出事業<東京都出資金事業>

観光関連団体や水辺活動団体等が行う水辺のにぎわいを創出する事業を支援した。

No.	申請者	事業名
1	一般社団法人 竹芝エリアマネジメント	竹芝Town of Festival
2	一般社団法人 墨田区観光協会	「隅田川 とうろう流し」と 「平和祈念コンサート」
3	一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会	天王洲チャンネルフェス2018 夏・冬
4	一般社団法人 天王洲総合開発協議会	天王洲アートフェスティバル
5	株式会社 KTMDまちづくり計画	汐浜運河潮風の散歩道の“健康になる緑道”による賑わい づくりプロジェクト
6	NPO法人 江東区の水辺に親しむ会	深川の川床による水辺のにぎわい創出プロジェクト

(エ) 東京ライトアップ発信プロジェクト<東京都出資金事業>

① 建造物等のライトアップモデル助成

都内の建造物等を保有する民間事業者・区市町村等が行うライトアップの取組や広域的なライトアップ計画等の作成を支援した。

No.	申請者	事業名
1	港区	港区芝浦港南地区橋りょう等ライトアップ
2	品川区	ヒカリの水辺プロジェクト
3	寺田倉庫(株)	天王洲運河 建造物ライトアップ
4	三菱地所(株)	丸の内ストリートギャラリーライトアップ事業
5	森ビル(株)	新虎通り沿道の自社施設を活用したライトアップ計画作成 (計画作成支援)

② 春・秋のライトアップモデル助成

観光協会等が行う春や秋の自然などを活用したライトアップの事業を支援した。

<春>

No.	申請者	事業名
1	一般社団法人 羽村市観光協会	玉川上水桜並木ライトアップ事業2019
2	一般社団法人 奥浅草観光連盟	「桜色に染まる奥浅草 山谷堀」(仮) ～愛でる！くぐる！撮る！夜桜スカイツリー×人力車×観光客
3	早稲田商店会	WASEDA さくらプロジェクト

<秋>

No.	申請者	事業名
1	一般社団法人 東京北区観光協会	音無親水公園ライトアップ事業
2	一般社団法人 竹芝エリアマネジメント	芝夜会ー紅葉と灯りの宴ー
3	一般社団法人 青梅市観光協会	青梅御岳溪谷紅葉のライトアップ事業

③ イベント等を活用したライトアップモデル助成

イベント等を利用して建造物等の一時的なライトアップを行う民間事業者・区市町村等の取組を支援した。

No.	申請者	事業名
1	(一社) 天王洲・キャナルサイド活性化協会	天王洲運河 水辺のライトアップ
2	(NPO法人)みたか都市観光協会	風の散歩道 (山本有三記念館) 「ライトアップ」事業

(4) 東京フィルムコミッション「東京ロケーションボックス」<東京都受託事業>

都内における映画、ドラマ等撮影に係る各種の相談窓口として、「東京ロケーションボックス」を運営した。制作会社等に対し、ロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続きの指導・助言などの支援を実施し、年間の問い合わせ件数は4,186件で、うち支援件数は1,065件だった。

また、支援作品を通じた東京の魅力や地域のPR活動を実施した。

新たな取り組みとして、海外映画見本市等にブース出展することでロケ地としての東京の魅力を広くPRした。

(ア) 対応実績

	映画		テレビ番組			Web 映像	スチ ール	ミュー ジック ビデオ	その他 のジャ ンル	撮影 以外	合計
	劇場 映画	その他 映画	T V ドラ マ	その他 T V番 組	CM						
問合件数	391	92	439	553	167	161	141	82	169	1,991	4,186
支援件数	316	25	313	173	63	53	47	16	59	0	1,065
許 可 件 数	都立	9	1	1	13	2	3	0	0	0	29
	その他	43	5	63	15	5	4	9	2	12	159
	計	52	6	64	28	7	7	9	2	12	188

(イ) PR 事業

(1) 海外映画祭見本市等への出展、PR 実績

○カンヌ国際映画祭併設国際見本市

平成 30 年 5 月 6 日～5 月 19 日

出展会場：パレ・ド・カンヌ

○American Film Market

平成 30 年 10 月 29 日～11 月 9 日

出展会場：サンタモニカ・ロウズホテル

○香港フィルマート

平成 31 年 3 月 17 日～3 月 22 日

出展会場：香港コンベンション&エキシビジョン・センターホール 1

○TIFFCOM/Japan Contents Showcase 2018

平成 30 年 10 月 22 日～10 月 24 日

出展会場：池袋サンシャインシティ

(2) 支援作品を活用したイベント展の開催実績

○「ロケの都・東京の魅力発見！東京ロケーションボックスパネル展」

平成 30 年 4 月 10 日～4 月 16 日 都庁南展望室

○「映画『人魚の眠る家』公開記念～映画で見る“林試の森公園”展」

平成 30 年 11 月 16 日～12 月 28 日 林試の森公園サービスセンター

○「映画を 7 倍楽しくする！？フィルムコミッション特別展」

平成 31 年 2 月 8 日～2 月 11 日 東京シティアイ

(3) 「東京ロケーションボックスオフィシャルサイト」の改修等

ロケ地登録及び更新、特集記事の掲載、イベント情報の掲載、支援作品情報の掲載を行った。
また、より機能的かつ魅力的なサイトとなるよう改修を行い、2 月 1 日にオープンした。

(5) 東京シティガイド検定の実施

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材の育成を目的として、「東京シティガイド検定」を実施した。

(ア)第16回東京シティガイド検定試験

実施日 平成30年12月9日
会場 日本大学法学部神田三崎町キャンパス
受験者数 1,231名 (実受験者数 1,132名)
合格者数 799名
合格率 70.6%

(イ)試験対策セミナー

実施日 平成30年11月11日及び11月18日
会場 東京しごとセンター 講堂
参加人数 計231名

(ウ)検定委員会

第1回 平成30年6月25日
第2回 平成30年10月19日

(6) 被災地応援ツアーの実施 <東京都出資金事業>

東日本大震災等により大きな被害を受けた福島県の復興を支援するため、旅行事業者と連携して「福島被災地応援ツアー」を実施した。また、震災により大幅に減少した福島県の教育旅行復興に向け、福島県が実施する事業と連携し、都内の学校が実施する福島県への教育旅行に対して、バス料金に対する経費の一部補助を実施した。

(ア)宿泊・日帰り旅行支援

事業概要：旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、宿泊旅行1泊3,000円、日帰り旅行1人1,500円の割引を行う。
実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日
実績：宿泊旅行18,823泊、日帰り旅行4,001回
旅行会社数：142社（東京都内の旅行会社）

(イ)福島県教育旅行復興支援

事業概要：都内の学校が実施する福島県への宿泊を伴う教育旅行に対し、5万円の範囲内でバスに要する経費の1/2を支援する。
実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日
実績：52回

(7) ショッピング環境整備・推進事業<東京都補助事業>

都内免税店を増やすため、ポータルHPを作成・公開し、免税店向けの補助金・セミナー情報の集約、免税店情報の発信等を実施した。また免税店相談窓口を新たに立ち上げ免税店のトータル支援を実施した。

(8) 受入環境インフラの整備 <東京都出資金事業>

(ア) 観光インフラ整備支援事業

① 区市町村観光インフラ整備支援

事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、区市町村が計画的に行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 1億円（1区市町村当たり）

② 観光施設の国際化支援

事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、民間観光施設が実施する外国人旅行者向けの受入環境整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 1,000万円（1施設当たり）

(イ) 観光バス等バリアフリー化支援事業

① 観光バスのバリアフリー化支援

事業概要 高齢者や障害者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめるよう、主要な交通インフラである観光バスについて、乗降用リフト付車両の導入に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費について、1,000万円を限度（1台当たり）

② 観光バス乗降場等のバリアフリー化支援

事業概要 高齢者や障害者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめる環境を整備するため、区市町村等が実施するリフト付観光バスの乗降場等の造成などの取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内

補助限度額 3,000万円（1区市町村当たり）

(ウ) アクセシブル・ツーリズムの推進

事業概要 障害者や高齢者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめる環境を整備するため、民間事業者が実施する従業員向け接客スキルの向上に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 150万円（1事業者当たり）

(エ) 宿泊施設のバリアフリー化支援事業

事業概要 旅行者が安全かつ安心して利用できるよう、民間宿泊施設が実施するバリアフリー化に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内

補助限度額	施設や設備のバリアフリー化整備（改修等）	3,000万円
	ユニバーサルデザインルームの改修	4,200万円
	バリアフリー化のための備品購入	270万円
	コンサルティング	34万円

(オ) 宿泊施設における安全・安心向上事業

事業概要 宿泊施設に滞在する旅行者の安全・安心を確保するため、民間宿泊施設が実施する防犯カメラ等設備の導入に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 90万円（1施設当たり最大2か所）

(カ) 観光経営・インバウンド対応力強化事業

① 観光経営力強化事業

事業概要 東京都内中小企業の観光関連事業者が、アドバイザーの派遣を受けて実施する、生産性向上に要するICT・設備導入や新たなサービス・商品づくり、集客・販路開拓などの取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 1,500万円（1事業者当たり）

② インバウンド対応力強化事業

○外国人旅行者の受入対応の強化

事業概要 外国人旅行者ニーズに対応した利便性や快適性を向上させるため、宿泊施設、飲食店、小売店（免税店）等が新たに実施する受入対応強化の取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 300万円（1施設当たり）

○無線LAN環境の整備

事業概要 外国人旅行者の受入環境の整備を促進するため、宿泊施設、飲食店、小売店（免税店）が実施する無線LAN環境の整備に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内（1か所当たり1万5千円以内）

補助限度額 宿泊施設 75万円（1施設当たり最大50か所）

飲食店・小売店（免税店） 15万円（1施設当たり最大10か所）

(キ) 東京ひとり歩きサイン計画

事業概要 区市町村が行う多言語で表記した観光案内標識の整備、及び既存標識の更新に対して、経費の補助を行った。

補助額 新規設置 原則として補助対象経費の2分の1以内

盤面更新 補助対象経費の3分の2以内

(ク) デジタルサイネージを活用した観光情報ネットワーク事業

事業概要 外国人旅行者の利便性向上を目的に、街なかで観光情報などを多言語で提供する高機能型観光案内標識（デジタルサイネージ）の運用管理を行った。

設置個所 25か所（新宿エリア3か所、上野エリア4か所、お台場エリア3か所、渋谷エリア2か所、丸の内エリア4か所、秋葉原エリア3か所、六本木エリア3か所、銀座エリア1か所、浅草エリア2か所）

提供情報 観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATM など（各施設までの道順を表示）

対応言語 日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語

(ケ) 外国人旅行者に対するWi-Fi利用環境整備事業

事業概要 外国人旅行者への情報提供機能の向上を図るため、観光インフラ重点整備エリア内の区道において、観光案内標識周辺へのWi-Fi整備に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内

(コ) タクシー事業者向け多言語対応端末導入補助事業

事業概要 タクシーを利用する外国人旅行者の利便性の向上を図るため、タクシー事業者の多言語対応等に活用できるタブレット端末の導入に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 補助対象車両の数に5万円を乗じた額

4 観光情報の発信に関する事業

(1) 東京ブランドの発信・推進事業<東京都受託・負担金事業>

「旅行地としての東京」を強く印象づける「東京ブランド」を確立していくため、アイコンやロゴを活用し、主に都民や訪都外国人に向けたPRイベント等の実施を通じて、ブランドの浸透や旅行者受入の機運醸成を図った。

(ア) 東京の魅力発信プロジェクト

民間事業者や業界団体等からの連携事業の提案を受け、東京ブランドアイコンの普及・浸透に特に効果的だと思われる4提案に対し、都と提案者が共同で費用を支出し、連携して事業を実施した。

(イ) 東京ブランド推進プロジェクト

民間事業者や業界団体等からの連携事業の提案を受け、東京ブランドロゴの普及・浸透に特に効果的だと思われる1提案に対し、都と提案者が共同で費用を支出し、連携して事業を実施した。

(ウ) 東京ブランドの発信

東京ブランドを国内外に向けてPRしていくため、ブランド管理体制を整備するとともに、東京ブランドWEBサイトを運営し、情報発信及びブランドの浸透を図った。

(エ) ブランドPR イベント及び広告展開等の実施

「ツーリズム EXPO ジャパン 2018」や「東京マラソン EXPO 2019」等にブースを出展した他、羽田空港、成田空港や都内主要観光地において交通広告を実施した。

(2) ウェブサイトによる情報発信<東京都補助金事業>

外国人旅行者のニーズを踏まえたデザインとコンテンツを取り入れ、東京の観光公式サイト「GO TOKYO」の全対応言語(9言語10種類)をリニューアルオープンし、東京の総合的な観光情報を継続的に発信した。また、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数 (H30.4月～H31.3月)
総合TOP	97,084
日本語	15,698,328
英語	4,876,955
中国語(簡体字)	2,881,198
中国語(繁体字)	7,224,770
韓国語	1,717,924
ドイツ語	318,931
イタリア語	290,958
スペイン語	382,868
フランス語	1,099,245
タイ語	2,373,465
その他	183,037

合計	37,144,763
----	------------

*アクセス数はページビューでカウント

*「その他」は、アクセス解析ソフトにより言語の区別がつかなかったページビューである。

(3) SNSによる情報発信<東京都補助金事業>

コミュニケーションツールや広報宣伝媒体として、その有用性が高く評価されている SNS を利用した広報宣伝活動を運営しており、Facebook、Weibo 等において、東京都内各地の旬の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数 (H31.3月末)
Facebook	日本語	6,577
	英語	283,571
	中国語(繁体字)	177,846
	韓国語	17,663
	ドイツ語	7,052
	イタリア語	24,429
	スペイン語	35,232
	フランス語	21,967
	タイ語	73,859
	インドネシア語	154,028
	ベトナム語	33,021
Weibo	中国語(簡体字)	42,152
WeChat	中国語(簡体字)	10,754
NAVER	韓国語	86,819
	※年間閲覧数	

*読者数はアカウントのフォロワーの数

(4) ウェルカムカードの作成<東京都補助金事業>

国内外の旅行者に東京の観光情報を提供するウェルカムカードとして、トラベルガイドを9言語・10種類(日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、独語、仏語、西語、伊語及びタイ語)で作成し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口、宿泊施設等で提供した。また、広告掲載により収入を確保した。

(5) ムスリム観光客向けパンフレットの作成<東京都補助金事業>

多様な文化・習慣に関する受入環境整備として、ムスリム旅行者の受入に取り組んでいる飲食店やホテル、礼拝所を紹介したムスリム観光客向けのパンフレットを英語で作成し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口、宿泊施設等で配布した。

(6) 東京観光情報センター等の管理運営<東京都受託事業>

① 東京観光情報センター <東京都受託事業>

国内外の旅行者向けに東京の観光情報を提供するため、以下の場所(5箇所)で東京観光情報センターを運営した。

- ・場 所 東京都庁(都庁第一本庁舎1階)
羽田空港(羽田空港国際線旅客ターミナルビル2階)
京成上野(京成上野駅改札口前) ※平成30年9月1日リニューアルオープン
バスタ新宿(バスタ新宿3階)
多摩(エキキュート立川3階)
- ・来場者数 合計 1,357,623人(うち、外国人778,391人/57.3%)

- ・問合せ件数 合計 669,117 件（うち、外国人 483,784 件/ 72.3%）

② 全国観光PRコーナー <東京都受託事業>

全国各地域の魅力をPRするため、観光パンフレットの配布やPRイベントの開催、特産品の販売等を行った。

- ・場 所 東京都庁（都庁第一本庁舎1階）
- ・来場者数 合計 192,809 人（うち、外国人 32,249 人/ 16.7 %）
- ・問合せ件数 合計 21,780 件（うち、外国人 13,031 人/ 59.8 %）
- ・イベントコーナー実施件数 44 自治体

(7) 広域観光案内拠点等の整備及び運営<東京都出資金事業、受託事業>

① 広域的な観光案内拠点及び東京観光案内窓口の運営支援

都内における観光案内機能の充実を図るため、外国人旅行者が多く訪れる 10 地域において、都が指定した広域的な観光案内拠点 3 箇所（累計 9 箇所）と、都内の東京観光案内窓口 110 箇所（累計 283 箇所）の運営支援を新たに行った。

また、これらの施設が国内外の旅行者に対し都内の観光情報を円滑に提供できるよう、モニター付きコールセンター通訳サービスを利用できる端末の貸与やデジタルサイネージの設置等を行った。

② 広域的な観光案内拠点に対する補助金

事業概要 東京都が指定した広域的な観光案内拠点を整備・運営する事業者を対象に、広域的な観光案内拠点の整備事業に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の 3 分の 2 以内

補助限度額 3,000 万円

③ 観光案内窓口整備支援補助金

事業概要 東京都が平成 29 年度以降に指定した東京観光案内窓口を整備・運営する事業者を対象に、東京観光案内窓口として求められる機能の充実や必要な整備事業に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の 3 分の 2 以内（区市町村は 2 分の 1 以内）

補助限度額 300 万円（区市町村は 225 万円）

(8) 観光ボランティアの管理運営<東京都受託事業>

観光ボランティア活動を通じて、東京を訪れる外国人旅行者に東京の魅力を紹介する東京都観光ボランティアの管理運営を行った。また、外国人旅行者が多く訪れる 10 地域のうち、東京駅周辺・日本橋エリア及び秋葉原エリアにおいて新たに「街なか観光案内」を開始した。（活動エリアの累計 8 地域）

- ・登録者数：3,154 名（休止者等 292 名含む。）

<各種ボランティア活動実施結果>

- ・街なか観光案内対応件数：新宿西口エリア 19,510 件、新宿南口エリア 21,141 件、上野エリア 48,229 件、浅草エリア 43,852 件、銀座エリア 15,512 件、臨海副都心エリア 10,338 件、渋谷エリア 24,891 件、東京駅周辺・日本橋エリア 316 件、秋葉原エリア 289 件
- ・観光ガイドサービス実施件数：764 件
- ・観光ボランティア派遣 : 19 回（派遣者数：延べ 196 名）
- ・都庁案内ガイドサービス実施件数：1,352 件
- ・展望室ガイドサービス実施件数：8,485 件

- (9) おもてなし親善大使の育成<東京都受託事業>
 中高生を対象に、オリンピック・パラリンピック開催に向けた夢を育て、併せて外国人旅行者への対応方法や東京ならではの「おもてなし」の手法を学ぶ「おもてなし親善大使育成塾」を実施するとともに、おもてなし親善大使（修了生）を対象としたフォローアップ研修会を実施した。
 ・平成30年度おもてなし親善大使任命者数 200名（累計1,005名）
- (10) 外国人旅行者向けエンターテイメント情報発信事業<東京都受託事業>
 エンターテイメント情報を掲載したポータルサイトの構築、チケット購入拠点等の仕組みづくりに向けた調査を実施し、国内外の現状把握、課題抽出等を行った。
- (11) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営 <東京都受託事業>
- ① 東京マラソン応援観光マップの作成
 東京マラソンコース、応援ポイント、周辺の観光スポット、イベント情報等を盛り込んだマップのデータ作成・配布を行った。
- ② 臨時観光案内所の設置・運営
 東京マラソン開催に合わせて来訪した国内外の旅行者に東京の魅力を体験してもらうため、東京マラソン EXPO2019 会場（お台場特設会場 2/28～3/2）とマラソン祭り（都立芝公園 3/3）に臨時の観光案内所を設置し、東京マラソン応援観光マップの配布及び都内観光に関する情報提供を行った。
- (12) 東京マラソン祭りフォトコンテストの実施
 東京マラソン 2019 ランナー応援イベント「マラソン祭り」（平成31年3月3日）にあわせ、東京都との共催により、「マラソン祭りフォトコンテスト2019」を実施した。
 作品応募総数 132点
 入賞・入選作品 金賞2点、銀賞2点、銅賞3点 APA特別賞1点
 入選7点 合計15点
 （※作品展：東京都庁にて平成31年5月に開催予定）
- (13) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営<東京都受託事業>
 都内飲食店等における外国人旅行者の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT 東京」を運営した。
 ・サイト登録店舗数 5,653店舗（平成31年3月末時点）
 ・飲食店を対象にした「EAT 東京」の普及啓発操作説明会等 参加者数 169名
- (14) TCVB 活動の広報に関する事業
 インバウンド誘致やビジネスイベントの誘致促進等に係る TCVB の活動を海外に対して効果的に PR するため、日本語版及び英語版のウェブサイトを運営した。

5 会報発行事業

- (1) 会報等の発行
 (ア) 「TCVB NEWS」の発行
 新たなコーナーの設置やタイムリーな情報収集に努めることで、読者の期待に応える紙面づくりを行った。
 ・回数、部数 4回（季刊）、毎1,000部
 ・体裁 A4サイズ8ページ、2色

- ・主な配布先 賛助会員、マスコミ、関係機関
- (イ)TCVB メール速報の配信
- 速報性を活かした情報提供サービスの充実を目指し、会員及び関係機関へ週1回配信した。
- ・配信回数 54回

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4ヶ所（新宿、有楽町、池袋、立川）及び島しょ地域（9町村）において、東京都から受託した東京都手数料徴収業務を実施した。また、新宿郵便局長から受託した収入印紙の売りさばき業務を新宿旅券課内において行った。

収入印紙年間販売枚数 412,273件

2 ガイドマップ等の販売事業

東京観光情報センター東京都庁において、東京教育観光マップ等を販売した。

3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業

(1)公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」

都内各書店、東京観光財団ホームページ、東京観光情報センター東京都庁等において、公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」を販売した。

販売冊数：2,021冊（前年度：2,683冊）

(2)過去問題

東京観光財団ホームページ及び東京観光情報センター東京都庁において、過去問題を販売した。

販売部数：3,100部（前年度：1,938部）

III その他事業

1 TCVB ミーティングの開催

東京の観光に関わる様々なトピックを扱う TCVB ミーティングを開催した。

第1回：地域の観光振興におけるシェアリングエコノミーの活用について

（開催日：平成30年4月24日、参加実績：16名）

第2回：アラブ市場の今～現地マーケット情報と最新動向

（開催日：平成30年6月26日、参加実績：36名）

第3回：最新の旅ナカ事情～外国人旅行者の興味・関心について～

（開催日：平成30年7月6日、参加実績：52名）

第4回：2020年に向けたユニバーサルツーリズムの最前線

（開催日：平成30年7月26日、参加実績：32名）

第5回：「外国人目線」の次のステージへ

- (開催日：平成30年8月8日、参加実績：45名)
- 第6回：ものづくり観光を通じた地域振興について
(開催日：平成30年9月25日、参加実績：24名)
- 第7回：最新旅ナカ事情 ～旅ナカマーケティングの可能性と未来～
(開催日：平成30年11月15日、参加実績：37名)
- 第8回：観光分野から見た東京の都市特性の現状と展望について
(開催日：平成30年11月21日、参加実績：24名)
- 第9回：「吉田劇場」キャッシュレス決済+αで、お客様と気持ちいいコミュニケーションを！
(開催日：平成30年11月28日、参加実績：35名)
- 第10回：ユニークなアイデアで顧客を魅了～DMCと施設の取り組み
(開催日：平成30年12月20日、参加実績：37名)
- 第11回：ここまで来たか！外国人旅行者のディープな東京の楽しみ方
(開催日：平成31年1月9日、参加実績：52名)
- 第12回：事例から学ぶ中小企業の観光関連事業展開
(開催日：平成31年1月23日、参加実績：41名)
- 第13回：旅行者の安全確認に向けた取り組み
(開催日：平成31年2月27日、参加実績：24名)
- 第14回：最新の旅ナカ事情～ファミリーフレンドリー東京を目指して～
(開催日：平成31年3月14日、参加実績：30名)

2 TCVB ビジネス交流会の開催

賛助会員同士のビジネスマッチングを目的とした商談会を開催した。

- 第1回：平成30年8月22日、参加実績：32団体
第2回：平成30年9月14日、参加実績：18団体
第3回：平成30年11月9日、参加実績：24団体
第4回：平成30年12月12日、参加実績：10団体
第5回：平成31年2月20日、参加実績：13団体

3 賛助会員情報交換会の開催

賛助会員を対象とした賛助会員情報交換会「交流の集い」を開催し、富裕層市場に関する講演及び座談会と、「スポーツが持つ力と地域活性化」というテーマにてスポーツ庁長官による特別講演を行った。また、会員同士の交流を目的とした懇親会も実施した。

開催日：平成31年2月6日、参加者：215名（参加団体126団体）

以上